



Bauhaus Project



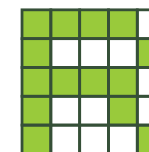
Architecture
Presentation

architect
Seisyou Fujimoto

藤本 誠生



建築家と建てる家を、
身近に、手軽に



R+house



※建築家住宅(建築士の資格を有する独立した建築家により基本設計された住宅)
主要供給事業者9社における2017年度～2019年度新築供給数
(株)矢野経済研究所調べ 2020年8月現在
※本調査結果は、定性的な調査・分析手法による推計である。





担当建築家

藤本 誠生 藤本誠生建築設計事務所@熊本

Fujimoto Seisyou

使われ続ける建築をつくること。可能性のある建築を考え続けること。

1つの建築が連鎖し、街、都市、思考が共鳴していくことを指標にしています。

重視していることは、敷地へのアプローチ・ゾーニング・動線・高さの価値付・

プロポーション・クライアントの思いを紐解いていき、無意識な感覚をみつけ、

価値付けし、建築空間へとつなげてく作業を繰り返します。

完成した時に違和感なくやっと会えた感覚をもっとも重要視しています。

Profile

1979年熊本県生まれ（阿蘇）

2002年森繁建築研究所 / 熊本県

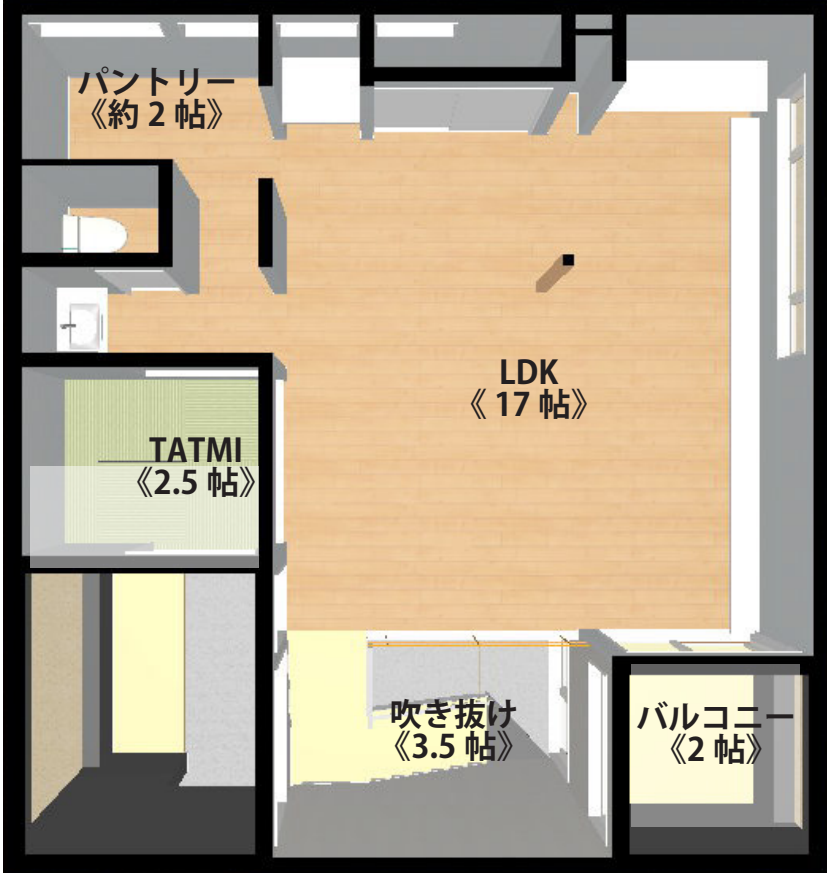
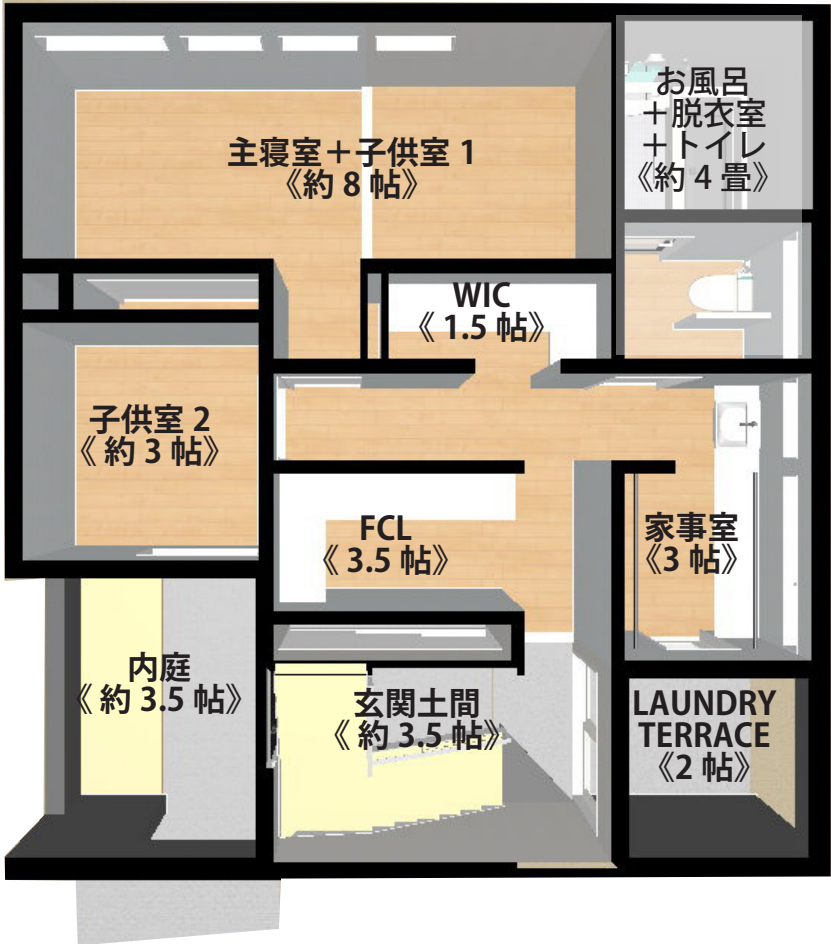
2012年矢橋徹建築設計事務所 / 熊本県

2015年 藤本誠生建築設計事務所 開設

1F

敷地面積 : 43.22 坪 (142.86 m²)
1階床面積 : 14.15 坪 (46.78 m²)
2階床面積 : 14.28 坪 (47.20 m²)
延床面積 : 28.43 坪 (93.98 m²)

2F



ウチニワの深度

POINT①

内部空間の広がりを増幅させる内庭

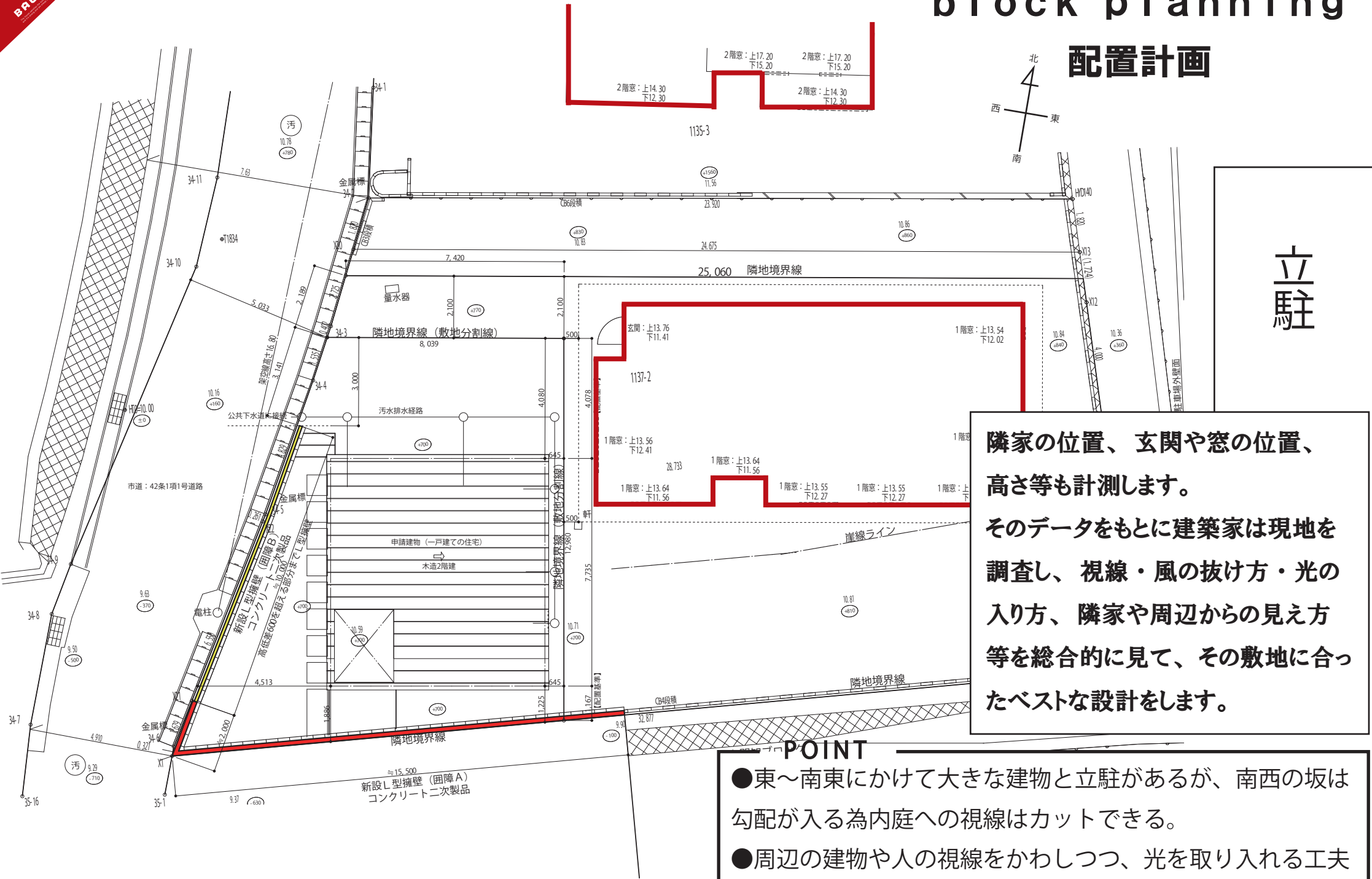
POINT②

「内と外」「1階と2階」を繋げる、一体空間の2階リビング

POINT③

隣家や庭との関り方を考慮した配置計画

配置計画



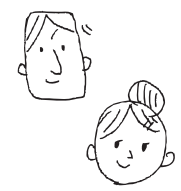
隣家の位置、玄関や窓の位置、高さ等も計測します。
 そのデータをもとに建築家は現地を調査し、視線・風の抜け方・光の入り方、隣家や周辺からの見え方等を総合的に見て、その敷地に合ったベストな設計をします。

- POINT**
- 東～南東にかけて大きな建物と立駐があるが、南西の坂は勾配が入る為内庭への視線はカットできる。
 - 周辺の建物や人の視線をかわしつつ、光を取り入れる工夫
 - 隣家との関り方を考慮した配置計画

ポーチ/玄関



▶ご実家側（玄関）



実家の敷地内に家を建てるので、母は新居の玄関と実家のリビングを離して欲しいと言っていました。あとは庭をがっつり共有するとなると、気を使ってしまいそうなので・・・私たちも、**お互いの生活に丁度いい距離感**はあったほうがいいと思っています。

敷地の南西側に玄関を設けました。南西側は隣接している道路の勾配がある為、**道路側からの視線をかわしつつ**、ご実家の生活のプライバシーと、お施主様の生活のプライバシーがそれぞれ守られる**丁度いい距離感**を保つことができます。



また、外部と内部を繋ぐ役割として、玄関前に内庭のようなポーチを設けました。この場所が外部（ご実家や道路）との**コミュニケーションにワンクッション**入れてくれます。植栽を植えて、ウッドデッキを設ければテラスのような使い方をすることもできますよ！



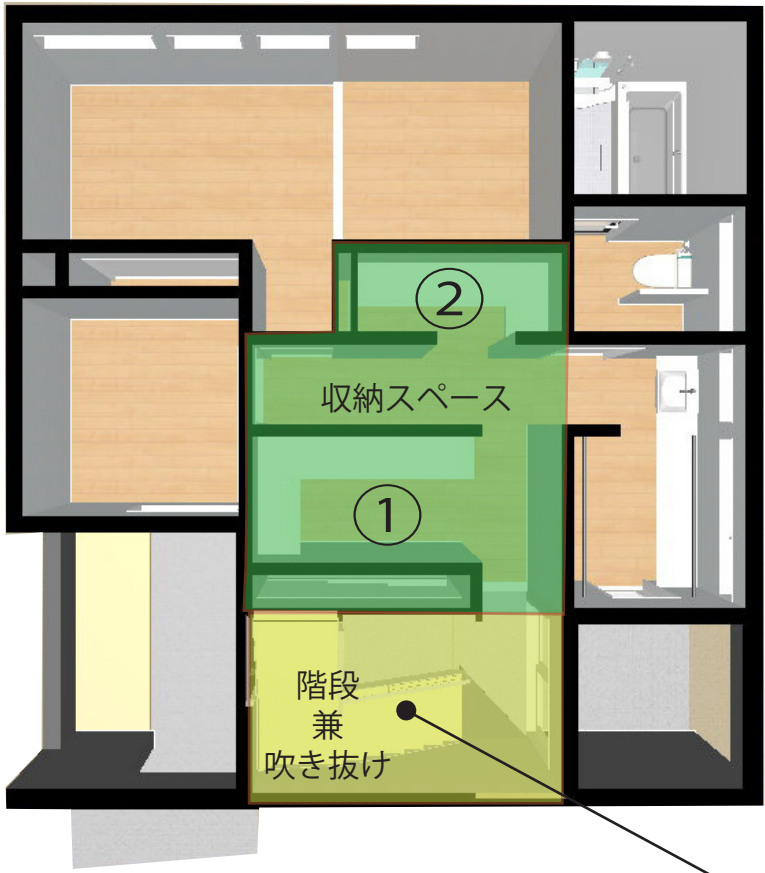
建築家 POINT
プライバシー性を確保した間取り

1F

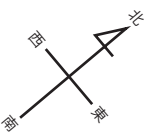


これなら家に出入りするときに、**玄関開けたらすぐ道路！**ではないので**なんだか安心感**がありますね。

SCL/FCL/WIC



1F



室内には吹き抜けがあるといいな~と思ってます。
また、服や靴が好きなのでウォークインクローゼットやシューズクロー
クが欲しいな。

吹き抜けを単体で作るとスペースがもったいないので、**階段と兼
ねるのはどうでしょう？**



いいですね！吹き抜けに対して私たちが思うのは、**抜け感**とい
うか。実家の庭の緑が見えるような明るいスペースがあればい
いなというイメージなので、兼用でOKです。

では、**階段兼吹き抜けスペース**としましょう。
これなら**スペースを有効的に活用出来ます！**インナーバルコニーにも
なっている為、ご実家と庭を共有しながら適度な距離感をとることが出
来ます。兼用することで生まれたスペースは、**趣味の服や靴の収納へ費
やしました。**また、①ファミリークローゼットにすることで洗濯物を片
付ける時も楽ですし、**各部屋を広く使うことが出来ますよ。**
②冠婚葬祭で使うようなものや、共有スペースには置きたくないものな
どが置けるように、主寝室側にクローゼットを設けました。



これだけ**収納スペース**があると安心ですね。今までは靴が賃貸の靴箱
に入りきれずに、自分たちで棚を買って片付けていたので・・・！

洗面/脱衣所/LAUNDRY/家事室



ちなみに、毎日の支度のルーティーンってどんな感じですか？



ルーティーンですか？
 そうですね・・・朝起きたらまずタバコを吸って(笑)
 朝食をたべて、トイレに行って、お風呂掃除をして・・・
 それから洗顔して着替えて家を出ます。休日もほぼ同じですね。

帰宅の際のルーティーンはありますか？



帰宅時は、まず部屋着に着替えてご飯を食べて茶碗を洗って・・・
 子供のお風呂と着替えをしてから自分も入浴して洗濯。子供の寝
 かしつけが終わったら自分の時間(ゲームとかお酒飲んだりとか)
 してから寝てますね！

なるほど。ではこういうプランはいかがでしょう？水回りは一か所に纏めました。起床時も帰宅時も、快適な動線で身支度が出来ますよ。また、ランドリーの隣に家事室とランドリーテラスを設けました。家事室に部屋着や下着やタオル類を収納できるスペースを設けているので、洗濯→干す→片付けるといった家事がとても楽になりますよ！身支度のルーティーンも、より快適になるかと思います！



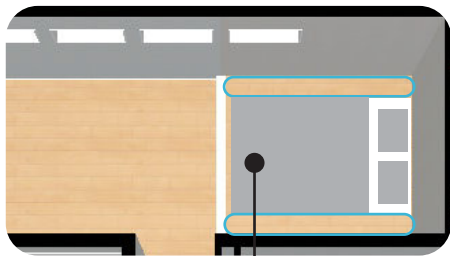
建築家 POINT
 家事がグッと楽になる動線の工夫

1F



ランドリースペース欲しかったのでとても嬉しいです！
 ここからファミリークローゼットまでも近いし、洗濯に関する家事がすごく楽になりそう！！

主寝室・子供部屋



ベッドだとデスクスペースが生まれてしまうが、一段上げる事により、デスクスペースが生まれずに済む



将来は仕切って個室に or オープンのままセカンドリビングどちらでもOK!

子供部屋 or ゲストルームにも

1F



寝室は、今は別々に寝ている状態です。私と娘の寝相が悪くって(笑) 和室に布団を敷いて寝てます。

なるほど。主寝室は、コンパクトにする代わりに寝る場所を一段上げました。そうすることで、ベッドフレームを買う必要もないですし、同じ部屋でも寝相を気にせず、今までどおり奥様とお子様はそこに布団を敷いて寝れますよ！フラットな場所にはお子様が小さいうちはお子様の遊び場を作ってもいいですし、お子様が成長して個室に移ったあとは、そのスペースをセカンドリビングのように使うこともできます。

建築家 POINT
可変性のある間取り

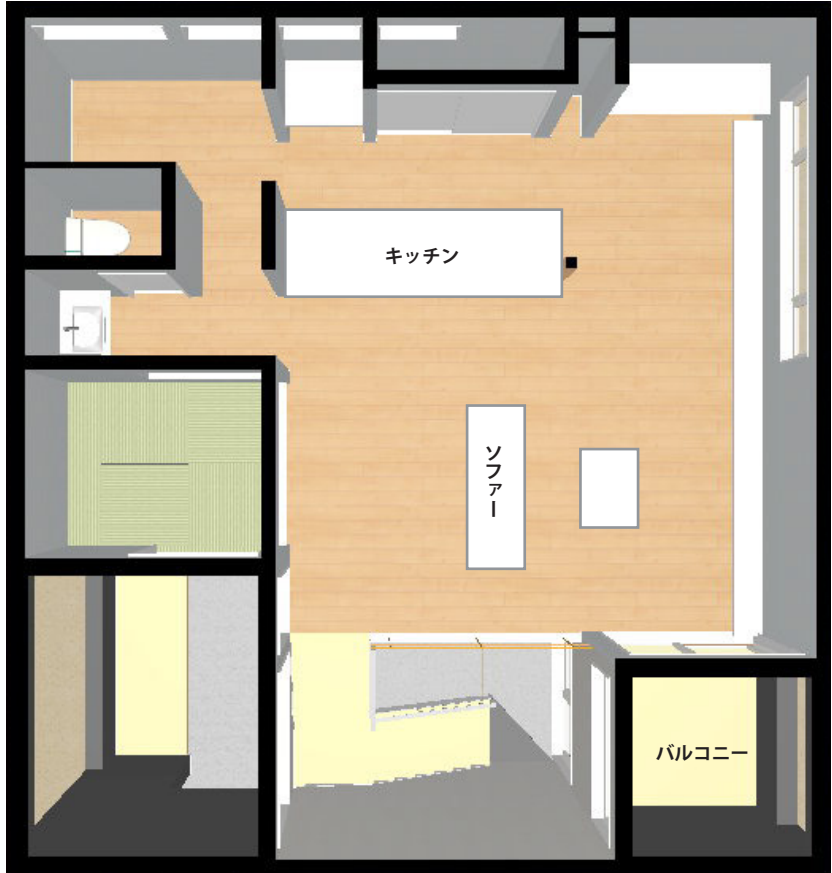


また、お子様が個室に移るまでは子供部屋をご主人の趣味部屋やゲストルームとして使うことも可能です。長い目で住宅を見ると、お子様が個室を使うのって小学校～高校くらいまでですよ。最初からすべての部屋を仕切って用途分けするのではなく、ライフスタイルの変化に合わせて使うのがおすすめです。コンパクトな住宅でも、仕切りが少なければコンパクトさを感じにくいですし、空間にもゆとりが生まれます。

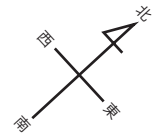


確かに！ずっと仕切って使うのはもったいないね。

LDK/畳コーナー/バルコニー



2F



敷地の特徴や、プライバシー確保の面から、2階リビングを設計しました。
 比較的外からの視線が気になる立地でも、リビングをカーテンで隠したり、外部の視線を気にするストレスが軽減されます。また、リビングからは奥様ご希望の緑が中庭を通して見えますし、視線が抜ける南東の位置にバルコニーを設けました。お子様のちょっとした遊び場にもなりますし、七輪でちょっとお魚や野菜を焼いたりしてもいいですよ！



建築家 POINT
 敷地の特徴とライフスタイルに合わせた間取りの提案



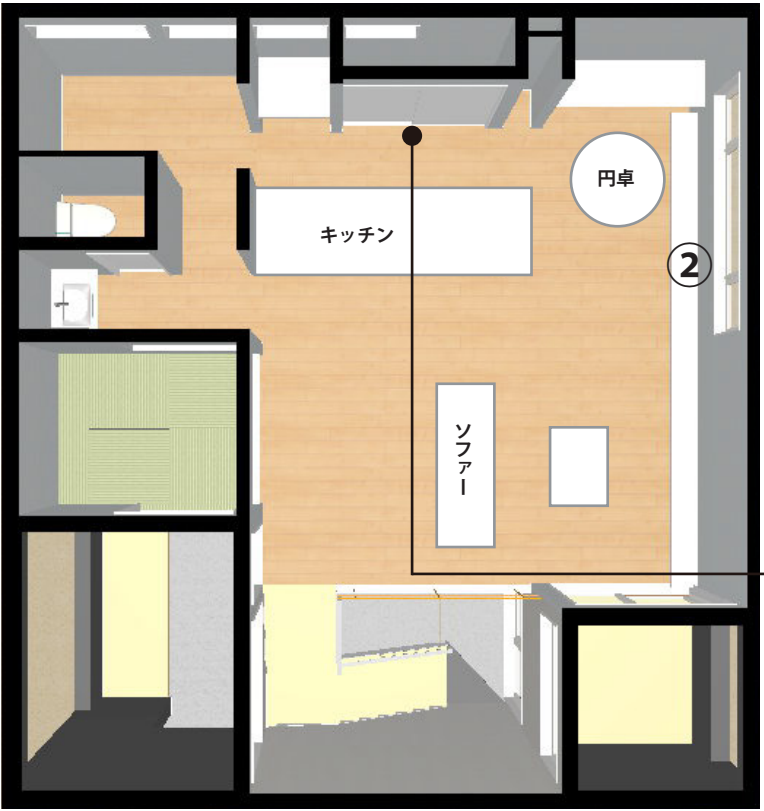
なるほど！だけど、2階が居住空間だと子どもの上り下りが心配かも・・・

確かにお子様が小さいうちは、階段用のネットが必要かもしれませんが、小さいうちは基本一緒に上り下りされるかと思います。数年間は心配かもしれませんが、長期的にみると2階リビングにするメリットの方が大きいかと思います。

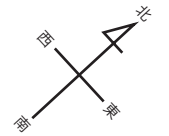


なるほど！確かにそうですね。
 視線を気にせずに家族で寛げることのメリットは大きいので、2階リビングでの生活もありかも。

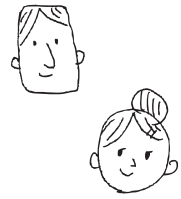
LDK/畳コーナー/バルコニー②



2F



吹き抜けの壁がリビングから大きく見えるのでこの壁にも布などを飾って楽しむことができる



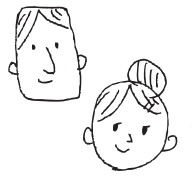
和室は個室じゃなくてもいいんですけど、家のどこかに畳のスペースがあるといいなって思ってます。子供と『ごろん』と横に慣れるスペースのイメージです。

あとは、パントリーが欲しいですね。お米とかは30キロ単位でもらったりするので。それから、食器や布を集めるのが好きなのでそれらを飾れる棚があるといいな。

テーブルは今使ってる円卓がお気に入りなので、引き続きそれを使いたいと思ってて・・・！

①LDKの一角に畳スペースを設けました。小上がりにする事で腰掛にも使えますよ。窓からは内庭を挟んで外の景色が広がるので、ごろんと心地よく寛げます。

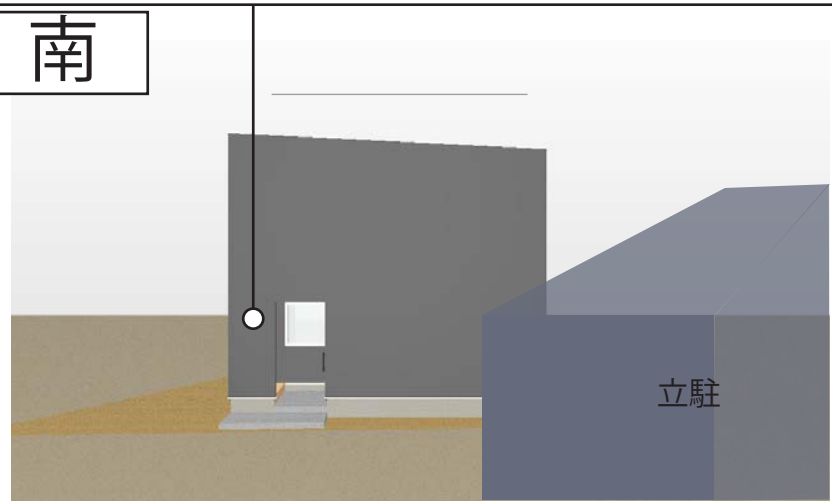
また、キッチンの横にパントリーを設けました。キッチンバック横には、食器等、コレクションのお気に入りを飾れるよう棚を設けました。回遊性を持たせた間取りなので、キッチン側・ダイニング側のどちらからもアクセス可能です。お気に入りのテーブルはキッチン横のスペースに置けるように配置しました。②造作カウンターを壁際に設けているので、イスのように使って頂くことも可能です！



畳スペース、イメージ通りで嬉しいです。キッチンもリビングやダイニングからのアクセスが良いので家事をしながらでも家族の様子が分かりますね！

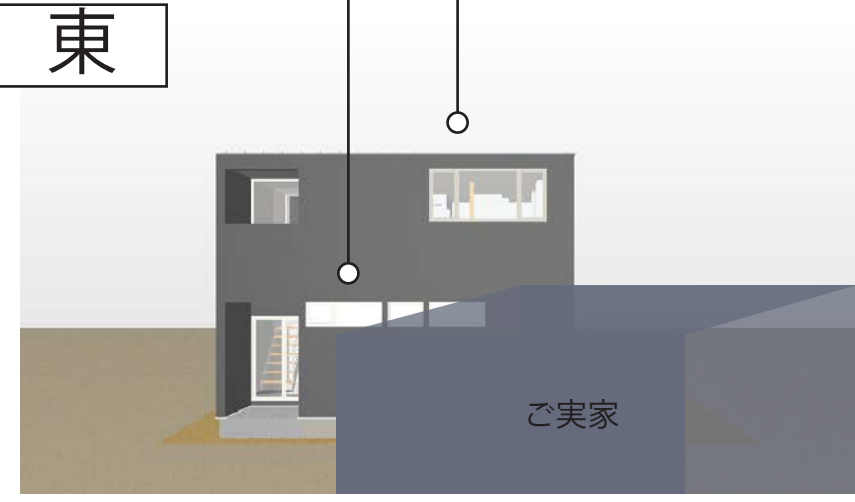
土地の東～南東側は、商業施設の立駐がある為窓を設けずプライバシー性を確保。玄関ポーチに設けた中庭を介して間接的に光を取り入れる。

南



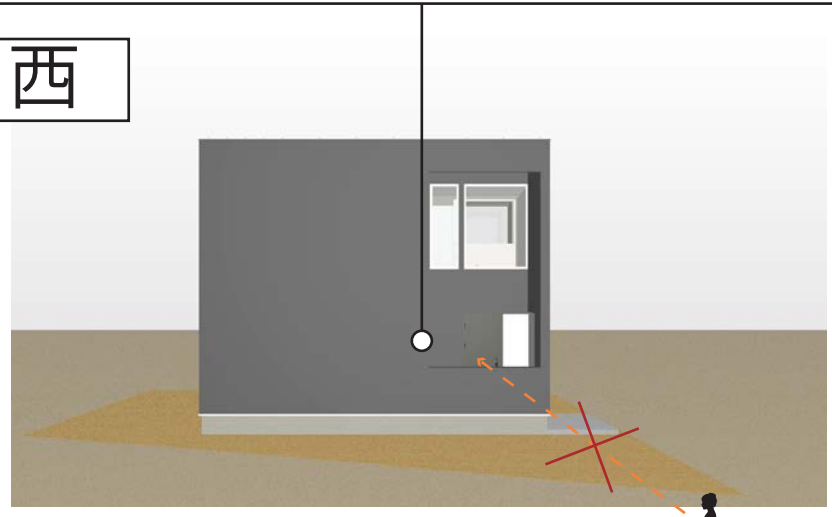
東側のすぐ隣にご実家がある。ご実家の玄関や窓の位置などお互いの距離感に配慮。

東



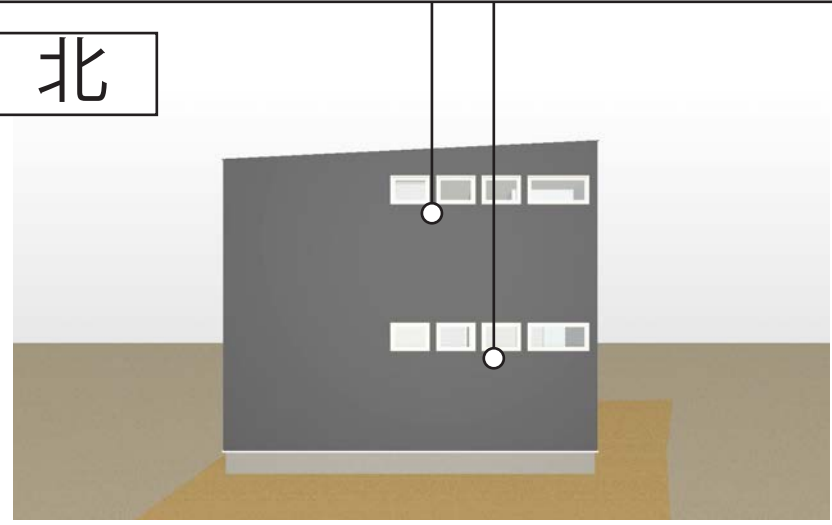
西側には交通量が多い道路があるが、道路の勾配と土地の高さを考慮した腰壁を設けて視線をカット。

西



北側にも隣家があるが、距離がある為視線をかわせる位置に窓を配置している。

北



熊本市風配図

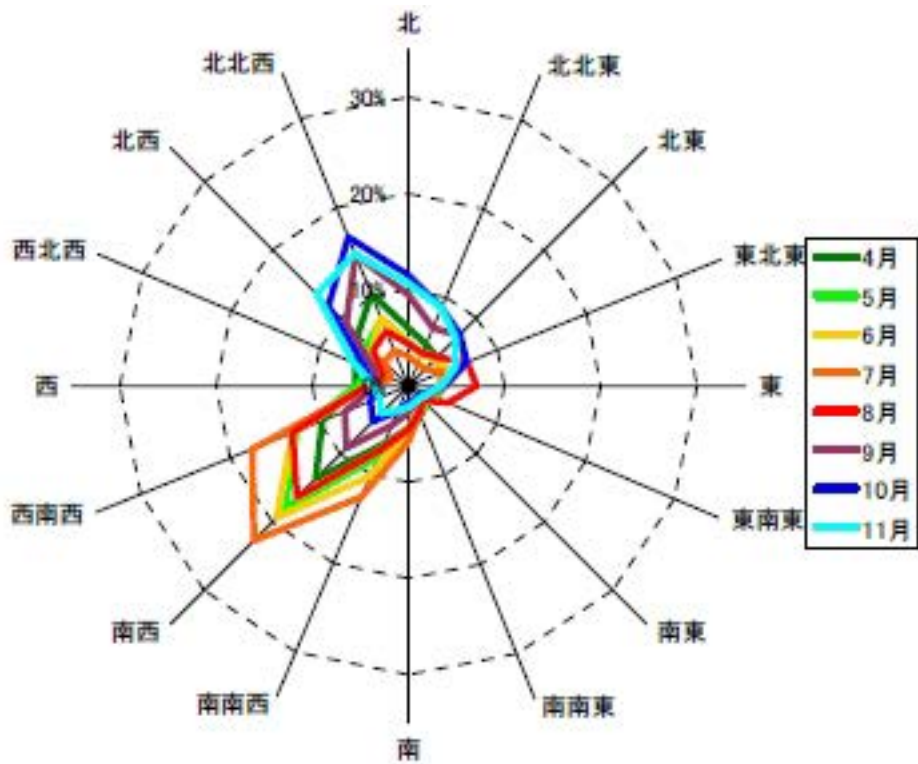


図4a 月別風配図(起居時)

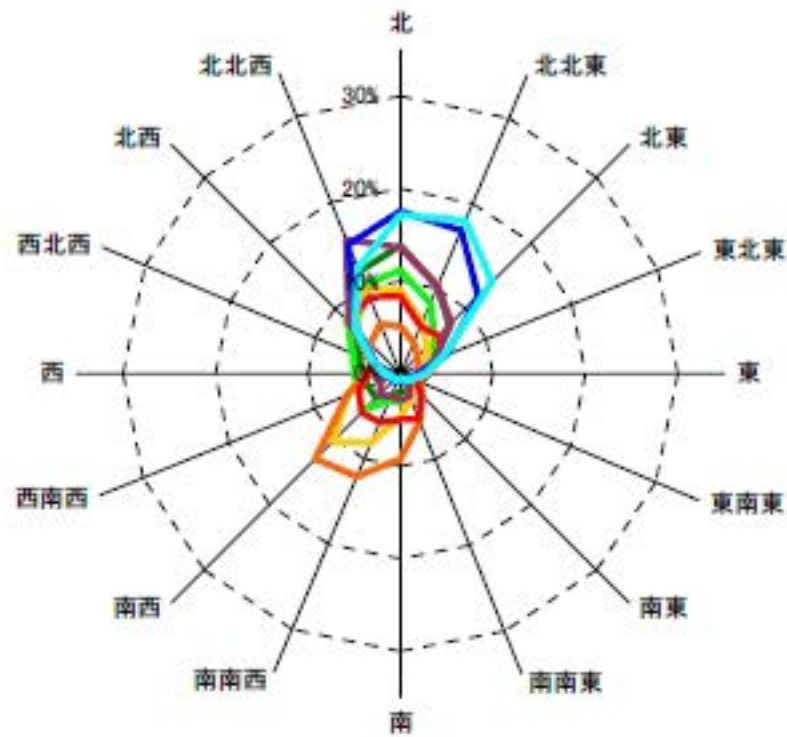


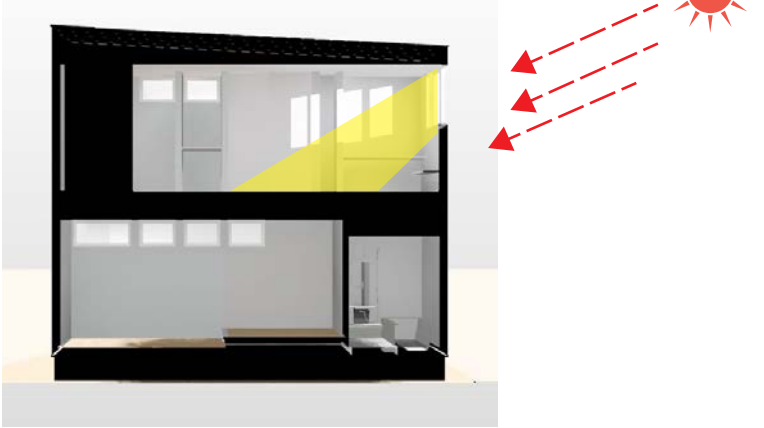
図4b 月別風配図(就寝時)

風配図とは、各方位の風向および風速の頻度を表した図です。

建築家は周辺の建物や環境を実際に目で見て、データと照らし合わせながら風の向きや、入り方なども計算して「窓の配置」「窓の種類」「建物の配置」を決めていきます。

冬は部屋の奥まで光を取り込み暖かく、夏は窓から入る直射日光を避け、涼しく自然の力を最大限活かしたパッシブ設計。

真冬



(冬至) 太陽の南中高度（太陽が真南にきて、一番高く上がった時の地平線との角度）が低くなる為、太陽が西に傾く頃、窓から部屋の奥まで暖かい光を取り込むことができる。南側はプライバシー性を確保の為窓を設けていないが、東側からの間接的な光を取り込んでいる。

真夏



(夏至) 太陽の南中高度（太陽が真南にきて、一番高く上がった時の地平線との角度）が最も高くなる為、軒を出して日射を遮り、室温の上昇を抑える。



夏と冬では太陽の位置が異なります。建築家は季節ごとに変わる太陽の動きも熟知した上で設計します。